令和 6 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 現代文演習

教　科：国語　科　目：現代文演習　単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：	1組 安田　彩夏	2組 稲本　聡子	3組 稲本　聡子	4組 安田　彩夏	5組 稲本　聡子	6組 安田　彩夏
使用教科書：	教科書：「探求論理国語」（桐原書店） 副教材：「共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語　現代文改訂第三版」（Ｚ会）、「重要漢字コレクション2800改訂版」（啓隆社）、「現代文単語　評論・小説改訂版」（桐原書店）					

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域に於いて、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目　現代文演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化についてその特質を理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域について、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、み来の科学技術者として自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単　元 1 評論文・意見文の読みと読解を深める	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	評論文の構成や語意について理解を深める				漢字・語意を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言語の働きや文の効果的な組み立てについて理解できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書・副教材等								
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等								
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説									2
	単　元 2 共同体から市民社会へ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	市民社会の歴史について理解し、認識を深める。				漢字・語意を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言語の働きや文の効果的な組み立てについて理解できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書・副教材等								
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等								
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説									2

令和 6 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 現代文演習

教　科：国語　科　目：現代文演習　単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：	1組 安田　彩夏	2組 稲本　聡子	3組 稲本　聡子	4組 安田　彩夏	5組 稲本　聡子	6組 安田　彩夏
使用教科書：	教科書：「探求論理国語」（桐原書店） 副教材：「共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語　現代文改訂第三版」（Ｚ会）、「重要漢字コレクション2800改訂版」（啓隆社）、「現代文単語　評論・小説改訂版」（桐原書店）					

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域に於いて、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目　現代文演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化についてその特質を理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域について、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、み来の科学技術者として自分の思いや考え	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単　元 3　実社会	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	実用的な文章を読み、表現する。				語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書・副教材等								
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等								
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説									2
	単　元 4　都市に生きる人間	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	家族と社会、個人について理解し、認識を深める。				漢字・語意を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言語の働きや文の効果的な組み立てについて理解できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書・副教材等								
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等								
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説									2

令和 6 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 現代文演習

教　科：国語　科　目：現代文演習　単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：	1組 安田　彩夏	2組 稲本　聡子	3組 稲本　聡子	4組 安田　彩夏	5組 稲本　聡子	6組 安田　彩夏
使用教科書：	教科書：「探求論理国語」（桐原書店） 副教材：「共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語　現代文改訂第三版」（Ｚ会）、「重要漢字コレクション2800改訂版」（啓隆社）、「現代文単語　評論・小説改訂版」（桐原書店）					

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域に於いて、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目　現代文演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化についてその特質を理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域について、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、み来の科学技術者として自分の思いや考え	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単　元　5　「書く」問に答える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	知的創造の手段として書くことについて理解し、実践する。				漢字・語意を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言語の働きや文の効果的な組み立てについて理解できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書・副教材等								
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等								
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説									2